

平成 29 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 星隆会	代表者	田中朝美	法人・事業所の特徴	法人としては、園児、高齢者、家族、その「ひとりひとりに寄り添う」ことを大事にしている。小規模多機能の介護事業所として、通い、訪問、泊まりの3つのサービスを柔軟に組み合わせて支援にあたっている。いずれのサービスも同じきいちごの職員が行うので、利用者や家族となじみの関係を作りやすい。建物に木を多用したやわらかく暖かい雰囲気の中で、人権とその人らしさを尊重した認知症ケア、アクティビティの充実に努めている。
事業所名	小規模多機能ホーム きいちご倶楽部	管理者	山崎賢二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	1人	0人	1人	0人	1人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	(初めて評価を行う)	(初めて評価を行う)	項目によっては職員の評価が分かれているが、職員の勤務形態、経験年数などにより評価が異なることもあると思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権、虐待、拘束についての研修に重点をおいて取り組む。</li> <li>・職員間の情報共有の改善に努める。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境			臭いはない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内外の掃除を定期的に、また必要な時に都度行う。</li> <li>・排泄処理のごみを衛生的に、また臭いがないようにする。</li> <li>・物品など整理、整頓する。</li> <li>・植栽、壁飾り、絵画、音楽などを活用する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域」が、どの広さ、地区のことをいうのかが明らかでない。</li> <li>・職員の挨拶はできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の清掃活動に積極的に参加する。</li> <li>・ご利用者の音楽療法等の活動に、地域の方にも定期的に参加していただく。参加していただくためにいろいろな方法でPRする。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の行事やイベントに参加している。29年度は梨受粉づけ、芋苗植え、笹巻作り、七夕、夏祭り、梨狩り、芋ほり、音楽演奏、餅つき、卒園式などに参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の行事に参加する他、日頃から相互に訪問し合い、より密な交流、活動を行う。</li> <li>・昨年に続き、塩冶地区の敬老会や長寿のお祝い会には参加させていただきよう願います。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み			会議で出された意見や課題を、次回の会議で振り返り、取り組みや解決の状況等を報告してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から地域の支援が必要と思われる方の情報を提供してもらい、支援に向けた話し合いを行う。</li> <li>・会議で出された課題をまとめ、取り組みや解決の状況等をそれ以降の会議で報告する。</li> <li>・改善計画の実行の状況を運営推進会議に報告する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で防災訓練、原発の避難訓練などがどれだけ行われているかの情報が不足している。</li> <li>・市、コミュニティセンター、自治会等から防災訓練、防災計画についての情報を得るようにしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災訓練の他に、地震、水害などの自然災害の避難訓練を行う。</li> <li>・訓練には一度は地域の消防団の方に来ていただく。</li> <li>・市、コミュニティセンター、自治会等から防災訓練、防災計画についての情報を得て、それらと連携、協力して訓練を行う。</li> </ul>